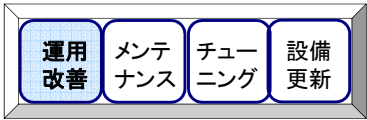


運転台数の削減



- 無負荷運転状態(アンロード)が長く続いているコンプレッサーを停止することで節電になります。
(必要圧縮空気量に対し供給力(運転台数)に余裕がある場合、運転台数を減らすことで消費電力(kW)が下がります)

試算例

朝9時～夜8時の間に運転台数の削減対策をすると...
(コンプレッサー合計129kW 相当の事例)

■ 節電効果 : **節電効果 12万円/年** 【高圧電力S単価を適用】
節電電力 約 2.8kW
節電電力量 約 7,500kWh

■ 対策内容 : 運転機5台のうち、無負荷運転状態が長く続く1台を停止

■ 計算式 : 節電電力(kW) = 消費電力(対象設備分) × 無負荷運転時の消費電力比
 節電電力量(kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

(試算条件)

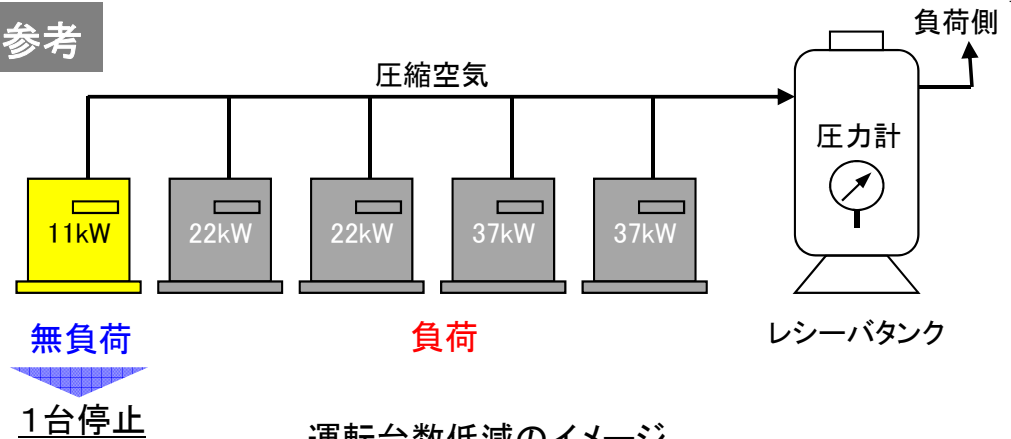
消費電力(対象設備分): 11kW/台
 無負荷運転時の消費電力比: 25% (仮定)
 対象時間: 11時間/日 (9:00~20:00)
 対象日数: 250日/年

[コンプレッサーの型式によって消費電力比は変わります(右グラフ参照)]

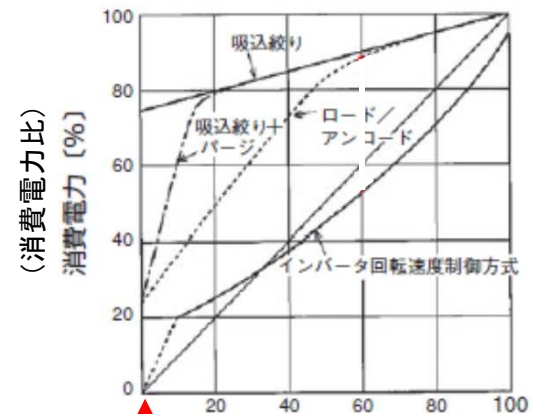
ポイント

- 無負荷運転が長く続いていると思われる場合に有効な対策です。
- 台数制御やインバータ機を導入することで更なる効果拡大が期待できます。

参考



運転台数低減のイメージ



コンプレッサー制御方式と消費電力
(インバータ機の場合回転速度[%])

省エネルギーセンター資料より

注) 本内容はお客さまの運用状況等によって異なる場合がございます